

管 区 事 務 所
〒162-0805
東京都新宿区矢来町65番
電話 (03)5228-3171
FAX (03)5228-3175

日 本 聖 公 会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku
Tokyo 162-0805, Japan
Tel. 81-3-5228-3171
Fax. 81-3-5228-3175

日本聖公会 各教区・各教会 御中
同 教役者及び信徒のみなさまへ

2001年4月
日本聖公会管区事務所
総主事 司祭 ミカヅ 輿石 勇
宣教主事 司祭 エミマ・パウ 木村直樹

「新しい歴史教科書をつくる会」教科書に反対する

主の御名を賛美すると共に、主の御復活をお祝いいたします。

さて皆さまご承知のように、「新しい教科書をつくる会」による教科書が、文部科学省の検定に合格しました。この検定合格に対し、先の戦争で日本の侵略を受けたアジアの国々で、強い抗議の声があがっています。

このような状況の中で、韓日キリスト議員連盟の国会議員 10 名が、日本抗議訪問団を結成して来日し、その代表である金泳鎮(キム・ヨンジン)さん(韓国基督長老教会長老)さんが、4月11日から16日まで、国会前で、抗議のハンストを行いました。このハンストの間、聖公会神学院の神学生をはじめ多くのキリスト者が連帯して座り込みを行いました。

中部教区の人権担当である ミカヅ 松本晋さん(名古屋聖ステパノ教会信徒)も、4月12日から14日まで、金泳鎮さんと共に、国会前でハンストを行い、さらに15日の復活日礼拝の後、ハンストに入り、16日午前9時から、場所を名古屋の中心部にある栄の久屋公園噴水前に移して、ハンストと座り込みを行い、ドクターストップがかかった19日まで、抗議行動を続けられました。

またNCCY(日本キリスト教協議会関西青年協議会)の青年たち(含 聖公会青年信徒)も、20日に、金議員を覚えて、国会前で抗議の座り込みを行いました。

わたしたち日本聖公会は、1996年の第49(定期)総会で「日本聖公会の戦争責任に関する宣言」を決議しました。この宣言には、わたしたちの悔い改めの徴として「(1) 日本聖公会の戦争責任の告白を全教会が共有すること。(2) 日本が侵略した諸国の教会に対し、日本聖公会としての謝罪の意志を伝えること。(3) 歴史的事実の認識と福音理解を問い直し深めるための取組みを、各教区・教会の中で継続して進めること」の三点が謳われています。

「新しい歴史教科書をつくる会」の歴史教科書は、日本の侵略を「大陸進出」と表記し、南京大虐殺の事実を歪め、従軍慰安婦についての記述もなく、日本による韓国併合と植民地支配を正当化するなど、歴史的事実を歪めた内容になっています。このような教科書で教えられる子供たちは、歴史的事実の認識を持たず、過去の日本の過ちが分からず、日本の侵略を受けた国の人々の思いを理解することもできない人間として育てゆくこととなります。

過去の自らの過ちを認め、戦争責任の告白を行った教会として、「新しい歴史教科書をつくる会」の教科書の検定合格取り消しと不採用の運動に連帯してゆくことを求めるとともに、総会決議「日本聖公会の戦争責任に関する宣言」が、あらためて各教会で確認され、信徒の方々に共有されることを要望します。